**“キセキ”をたどろう**

**思い出を材料にマップを作ろう**

データサイエンティストがマップデータを制作するときに使用する材料、素材、要素を一つずつ単語で、日本語と英語で教えて。

データサイエンティストがマップデータ（地図データ）を制作・可視化する際に使用する主な材料・素材・要素を、日本語と英語の対訳で以下に一つずつ単語で挙げます。

**基本要素**

1. **位置情報** – *Location*
2. **座標** – *Coordinates*
3. **緯度** – *Latitude*
4. **経度** – *Longitude*
5. **地理情報** – *Geographic information*
6. **ベースマップ** – *Basemap*
7. **地形** – *Terrain*
8. **標高** – *Elevation*
9. **境界線** – *Boundary*
10. **行政区画** – *Administrative division*

**データ・属性情報**

1. **属性データ** – *Attribute data*
2. **統計データ** – *Statistical data*
3. **人口** – *Population*
4. **交通量** – *Traffic volume*
5. **温度** – *Temperature*
6. **降水量** – *Precipitation*
7. **災害情報** – *Disaster information*
8. **土地利用** – *Land use*
9. **インフラ** – *Infrastructure*
10. **施設情報** – *Facility information*

**データ形式・技術**

1. **シェープファイル** – *Shapefile*
2. **ジオJSON** – *GeoJSON*
3. **ラスターデータ** – *Raster data*
4. **ベクターデータ** – *Vector data*
5. **座標系** – *Coordinate system*
6. **投影法** – *Projection*
7. **地理空間データ** – *Geospatial data*
8. **リモートセンシング** – *Remote sensing*
9. **衛星画像** – *Satellite imagery*
10. **地理情報システム** – *GIS (Geographic Information System)*

必要であれば、これらを分類別に図解したり、特定の分野（都市計画、災害対策、ビジネス分析など）向けのバリエーションも作成できます。

同じ要領で、もしデータサイエンティストが地図が本質的に表現しているもの、 それは、これまで地球上で生きてきたあらゆる人間、生物、自然が行ってきた営み、重ねてきた歴史、その歴史を作るそれぞれの一つ一つの意思決定、揺れ動く感情、出会い、出会いから生まれる共創、 そうしたものを、もし地図を作る材料、要素とするならば、どのようなものが素材として必要となるかを仮説で書き出してみてください。

とても詩的で本質的な問いですね。「地図とは何か」をデータサイエンスの枠を超えて、人間や自然の営みの結晶として捉え直した場合、その制作に必要な「素材」とは、単なる数値や地理情報を超えた、人間の感情や記憶、関係性といった“見えないデータ”の層を含みます。以下に、そうした仮想的・本質的な「地図をつくる素材・要素」を日本語と英語で、一つずつ単語で挙げてみます。

**地球と自然の営み – Planet and Nature**

1. **風** – *Wind*
2. **水脈** – *Water flow*
3. **季節** – *Season*
4. **大地** – *Earth*
5. **火山** – *Volcano*
6. **動物の足跡** – *Animal trails*
7. **植物の分布** – *Plant distribution*
8. **星の運行** – *Celestial movement*
9. **潮の満ち引き** – *Tide*
10. **日照** – *Sunlight*

**人間の営み – Human Life and History**

1. **移動** – *Migration*
2. **定住** – *Settlement*
3. **出会い** – *Encounter*
4. **交易** – *Trade*
5. **戦い** – *Conflict*
6. **祭り** – *Festival*
7. **祈り** – *Prayer*
8. **建築** – *Architecture*
9. **言語** – *Language*
10. **歌** – *Song*

**感情と記憶 – Emotion and Memory**

1. **希望** – *Hope*
2. **恐れ** – *Fear*
3. **孤独** – *Loneliness*
4. **友情** – *Friendship*
5. **別れ** – *Farewell*
6. **愛** – *Love*
7. **後悔** – *Regret*
8. **喜び** – *Joy*
9. **誓い** – *Oath*
10. **夢** – *Dream*

**意思決定と共創 – Decision and Co-creation**

1. **選択** – *Choice*
2. **分岐点** – *Turning point*
3. **迷い** – *Hesitation*
4. **挑戦** – *Challenge*
5. **共感** – *Empathy*
6. **対話** – *Dialogue*
7. **交差** – *Intersection*
8. **協働** – *Collaboration*
9. **物語** – *Story*
10. **未来予想** – *Vision*

このような“素材”で構成された地図は、単なる空間の記録ではなく、「存在と関係のアーカイブ」や「時を超えた共感の風景」として機能するかもしれません。それは、地理的な正確さよりも、人間と自然のあらゆる営みの“意味”を織り込んだ、多層的・詩的なマップです。

ご希望があれば、このリストをもとに詩やアート作品、対話プログラムなどにも展開可能です。

**“キセキ”をたどろう**

**思い出を材料にマップを作ろう**

私たちは日々地図を使っています。

待ち合わせ場所や行き先の検索、

旅先の候補地探しや新たな暮らしを始める場所探し。

毎日1回は地図を使って何かの意思決定をされているのではないでしょうか。

But what is a map really showing us?  What are we really “seeing” on them ?

MAP.

It’s a layer of history,

layer of hard decisions, happy desicions,

Encountance and variety of complex feelings ,

joy sadness experiences to enrich their lives.

Yes, “Map” is a form and a layer of lives.

Of millions and millions of people

who lived on earth till today.

When you see the maps in 時系列、

I start to hear heartbeats,

I start to receive temperatures,

I start imaging all the smiles, people’s living.

Because 地図の本当の役目だと信じているからです。

地図は人の暮らし、人生、そう、「人」と地球の営みと共創を

表現していくものだと私は信じています。

しかし、実際はどうでしょう？

人や人々の生活感はプライバシーの問題や雑音として真っ先に削除されていく要素です。

So today, I want to create a map with all of you

With the あるべき本質的な素材で。

why dont we

make a map with a new ingredients?

Why not make a map with your memories as a information?

Why don’t we try today use you “Best memories”

＜マップ名、案＞

KISEKI MAP

キセキ＝

人生という「奇跡」

人生の「軌跡」

出会いや発見のキセキ

＜プロジェクト名、案＞MeMOriA

Memori map

メモリ、目盛り、＝新たなより本質的なdata情報、計測値の提案という意味

Memo ＝人の大切な思い出のメモ

Ori =生まれる、

ここから始まる、誕生する　というニュアンス

語根 **ori**

「生まれる」を意味します。

派生した英単語には origin

**キセキマップ**

思い出でルート設計してくれる。

**人々の重ねてきた思い出、体験を材料に**

**形容詞でルートを検索し、どんな経験や体験を味わいたいか**

**感情でルートをえらべるMAPなんていかがでしょう？**

ROMANCE 恋人との想い出、公園でのキス、初めて手をつないだ場所など。

NOSTALGIA 子供の頃の遊び場、旧校舎、忘れられない家族旅行など。

FUN 笑った瞬間、仲間との冒険、夏祭りやイベントの記憶。

DISCOVERY 初めて行った場所、自分を変えた旅、感動した景色。

ADVENTURE 迷子になった道、チャレンジした体験、道なき道を行く記録。

などなど

そしてこの新しい発想で作る、

地域ブランディングの本質をついた

人の暮らしや生活、人生、文化を感じ取れるマップを、

街や国の新たなプロモーションのありかたとして、

新しい広報手段として地方創生や地域創発の起爆剤にしていくのはいかがでしょうか。

#…

カテゴリー分類

Age

Icon

緯度経度

タグ

カテゴリー？

Yohさんもご自身がハーフであり、幼少期より様々な国を転々とするノマドな人生を過ごされてきたご経験から得た多様性や豊かな感性、広い視野で世界を見ることを大切に、国際社会で大切にしていきたい人や社会との関係づくりや、コミュニティとの共生、データや科学の本質を学生たちに伝えています。また、データサイエンティストとして被災地支援をライフワークにされており、東日本大震災以降現在もなお被災された地元の皆様との繋がり続け彼らの記憶や体験をドキュメンタリーで記録、発信を継続しています。大学ではUCLA時代に立ち上げたMapathonというイベントを開催し、世界中の学生とオンラインで繋がり、天災や人災で地図データの早急な復刻が必要な地を支援するデジタルボランティアを実施する活動もされています。

Yohさんのインタビュー：

https://www.reitaku-u.ac.jp/journal/1776744/

https://www.reitaku-u.ac.jp/about/teachers/engineering/1777190/

https://researchmap.jp/yoh\_japan